

【地域の魅力を紹介（田園調布特別出張所）】

■地域の活動（令和元年度）

1 青少年健全育成活動

11月に「らぼっぼなめがたファーマーズヴィレッジ」に行き、さつまいもの栄養価や歴史の勉強と入浴剤作りを体験しました。また航空科学博物館に行き、飛行機の展示物等を見学しました。

12月には元 JAXA 宇宙科学研究所工学博士の大西晃さんをお招きし、「はやぶさ」などのテレビで見たことのある身近な話から専門的な話まで、幅広く講演していただきました。子どもだけでなく、付き添いの大人からもたくさんの質問があり、大盛況でした。

やきいもファクトリーミュージアム



入浴剤づくり



航空科学博物館



講演会



■まちの歴史や見どころ

1 田園調布駅

平成12年に大正時代の駅舎を復元しました。

田園調布が開発された当時の面影を残す建造物です。



2 イチョウ並木

田園調布駅西側にある田園調布を象徴する景観です。

秋は美しい黄金色のイチョウの葉で通り全体がおおわれます。



3 多摩川浅間神社

鎌倉時代（約800年前）に創建。源頼朝の妻、北条政子が傷の治療でこの地に逗留したことが創建の起りとされています。



4 亀甲山古墳（かめのこやまこふん）

4世紀後半から5世紀前半ごろに築造。当時この地方に勢力のあった首長の墓と考えられています。



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 鶺の木地区連合運動会

10月に「第26回連合運動会」を開催しました。町会・青少対委員・PTA等の皆さんが、地域全体で楽しめる内容を半年以上かけて準備します。毎年多くの方が参加する鶺の木地区の一大イベントです。



2 さんぽみち

地域情報紙「さんぽみち」(平成3年4月創刊)は、各町会から推薦された委員が作成し、発行しています。地域の活動や話題を中心に、年4回、魅力ある情報を発信しています。



■地域防災の活動(令和元年度)

管内全ての小中学校で学校防災拠点活動を行っています。災害に強い地域づくりを進めていきます。



■18色の国際都市事業

毎年3月に行われる高齢者ふれあいフェスタでは、英語・中国語・韓国語の3か国語のチラシとプログラムを作成し、多文化共生の啓発活動を行う予定です。



■18色の緑づくり(地域の花)の取組

鶺の木地区町会連合会では、平成21年度に「地域力推進鶺の木地区委員会 水と緑のまちづくり分科会」を設立し、春と秋に各町会へ花苗の配布を行っています。

この取組を学校や信金、郵便局などにも広げ、より一層、花と緑にあふれた潤いあるまちとなるよう、地域の皆様の活動を積極的に支援します。



春：ハイビスカス 秋：パンジー

【地域の魅力を紹介（鶺の木特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 オ・ア・シ・ス運動 ～笑顔あふれる楽しいまちに～

元気なあいさつで明るいまちを目指すことを目的に町会連合会が中心となり推進しています。

「おはよう。ありがとう。しつれいします、さようなら。すみません、ごめんなさい。」といったあいさつを大切に、みんなで明るく、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。



こどもたちが描いたポスター

2 水辺の楽校 ～豊かな自然を大切に～

川底を掘って生き物を調べてみたり、野鳥を観察してみたりと、多摩川に隣接する地域ならではの活動を通して子どもたちの「自然を大切に作る心」を育てています。



どんな生き物がいるかな？

3 ふれあい元気塾 ～毎月会える仲間たち～

高齢者の仲間づくりを目的とした活動です。毎月1回、3か所（もみじ・千鳥・鶺の木）で町会の世話人さんが中心となり、体操やお話会などを行っています。



■まちの歴史や見どころ

1 史跡（光明寺・松山公園 横穴墓）

光明寺をはじめとした古刹、松山公園として整備された古墳等、歴史に触れられる数々の史跡が残っています。



光明寺



松山公園 横穴墓

2 全国鶺の木まつり

毎年7月に、全国の「うのき」14か所が集まります。なまはげが登場しめずらしい！と大盛り上がりです。

平成27年度には第11回東京都商店街グランプリで優秀賞を受賞し注目度がより一層高まりました！



鶺の木のうーちゃん

3 あげパン発祥の地

学校給食の定番メニューの発祥は、なんと！鶺の木地区です！

おいしい「あげパン」ぜひご賞味あれ！



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 地域課題への取組み～地域力推進久が原地区委員会～

空き家対策 戸建て住宅が多い地域特性を踏まえ、空家の問題点やその対応について学ぶ機会となりました。

特殊詐欺対策 委員である地域の警察署員が講師として、リアルな特殊詐欺の手口を紹介。予防策と、地域でできる対策について討議しました。



情報紙に記事を掲載

2 地域力推進研修～そのとき何ができるのか～



久が原地区で活動する人・団体をつなぐ場として実施する研修です。「子育て」等のお題に対し、ワールドカフェ方式を取り入れ様々な意見が聴ける和やかな研修となりました。

(令和2年2月11日開催)

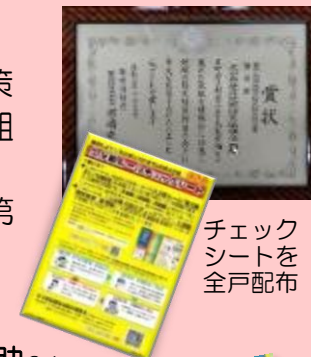
■地域防災の活動(令和元年度)

1 地域防災協議会の取組み

地域の41団体から成り、久が原ルール策定など、地域全体の防災の課題について取り組んでいます。

この地域防災協議会の活動が、東京消防庁第二消防方面本部長から表彰されました。

(令和2年2月19日表彰)



チェックシートを全戸配布

2 地域防災講演会～風水害時の自助・共助～

46名の方が参加し、風水害の基礎知識を学びました。グループワークでは避難におけるマイタイムライン(自助)と、地域の対応(共助)を考えました。

(令和2年2月11日開催)



■18色の国際都市事業(令和元年度)



ふれあい久が原大運動会の中で、「来～る大田区大使」OBの方の模擬店を、地元の高校生が手伝います。

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

土づくり

春

ベゴニア
チューリップ



秋

パンジー



往來の目を楽しませてくれる花たちが元気に育つためには、土づくりが欠かせません。育成講習会でたい肥の混ぜ方や時期を学びました。汗を流しての重労働ですが、春に秋に、元気な花が育つようにと取り組んでいます。



【地域の魅力を紹介（久が原特別出張所）】

■地域の活動（令和元年度）

1 ふれあい久が原大運動会第30回記念大会



松仙小学校を会場として開催した記念大会は、聖火リレーで幕を開け、全員の集合写真撮影や、記念バナーの作成など、実行委員が様々な趣向を凝らしました。
地元の書道家 金澤翔子氏による横断幕は、大会の“レガシー”となりました。



2 地域情報紙くがはらの発行

令和2年4月発行の120号から、地元の書道家金澤翔子氏による題字となりました。さらに、年4回の発行を季節に合わせて「春号・夏号・秋号・新年号」と改めました。



■まちの歴史や見どころ

久が原の郷土コーナー（久が原図書館内）

長い歴史を通じて先人たちが培ってきた郷土の風土や文化を、かけがえのない財産として子孫の代に継承していくきっかけとなることを願い、平成26年に設置されました。これまで9回の常設展示を行い、タイアップ企画も充実させています。

1 計算道具 いろいろ／タイガー手回し計算機、計算尺

2 昭和の家庭で”あたたまる”／長火鉢、どてら、あんか

3 久が原を”映す・撮る”／機械式カメラ、昭和の久が原

4 昭和時代のくらしをのぞく／軍隊手帳、記念硬貨、通宝

5 はかる／枴、斗掻き棒、棒秤、調剤用天秤

6 久が原 今昔／謄写版、出張所要覧、‘大森’区役所の金庫扉

7 久が原の農業／クワ、麦扱き、昭和の久が原の地図

8 久が原銀座商店街振興組合（ライラック通り）の歴史

9 久が原のもちつき／杵、臼、今も行われているもちつき



タイアップ企画（計7回）

スタンプラリー

カメラ体験

はかり講座

講演会

農業体験

座談会

もちつき解説

■ 地域力推進事業の取組み(令和元年度)

10月20日開催
「第36回9自治会スポーツまつり」

二人三脚リレー



合気道演武



パン喰い競争



子どもたちの活躍の場「青少対イベント」



5月 少年野球大会



8月 夏のつどい



1月 サッカー大会

■ 地域防災の活動(令和元年度)

マイ・タイムライン講習

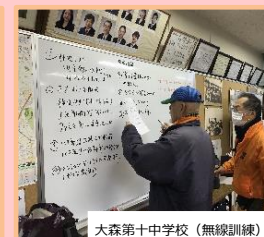


風水害に備え、ハザードマップを確認し、マイ・タイムラインを作成しました。

学校防災活動拠点活動



雪谷小学校(備蓄物品確認)



大森第十中学校(無線訓練)

震災に備え、備蓄物品や仮設トイレ設置方法の確認、無線通信訓練、避難所開設訓練など、地域一体となって学校防災活動拠点の強化に努めました。

■ 18色の国際都市事業(令和元年度)

もっと世界を知ろう台湾・タイ編



来～る大田区大使、国際交流員の方を招いてイベントを行いました。

ベザニー小学生ウインタースクール



会場: 洗足区民センター

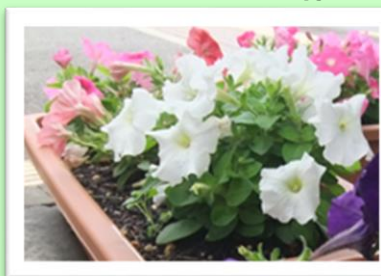
■ 18色の緑づくり(地域の花)の取組

春は「ペチュニア」を、秋には「スイセン」を地域の花として育てています。

特別出張所での種の配布や、自治会を通じて種・苗の配布を行い、地区の緑あふれる活動を行っています。

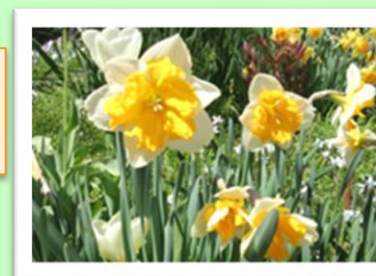
ペチュニア

花言葉…心のやすらぎ



スイセン

花言葉…尊敬



～緑でつながる地域の輪～

【地域の魅力を紹介（雪谷特別出張所）】

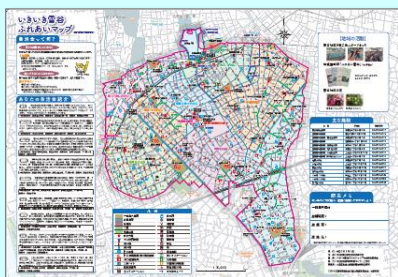
■地域の活動（令和2年度）

いきいき雪谷ふれあいマップの作成

雪谷地区自治会連合会では、自治会と出張所、地域包括支援センターが協力し、『いきいき雪谷ふれあいマップ』を作成しました。雪谷地区の魅力や役立つ情報を4つの柱でまとめました。

「いきいき雪谷ふれあいマップ」の4つの柱

- ① 自治会への加入促進
- ② 健康づくり支援
- ③ 地区名所の紹介
- ④ 地域防災力の向上



作成の様子



作成検討委員会



まち歩き実踏調査

ゆきがや広場～おしゃべりサロン～

60歳以上の方を対象に、雪谷地区民生委員・児童委員協議会が地域のつながりや福祉増進を目的に、体操、ダンス、陶芸などのイベントを開催しています。



地域情報紙「ふれあい雪谷」



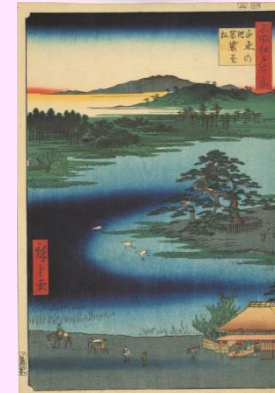
平成2年に創刊し、年4回（1月・4月・7月・10月）に発行しています。雪谷地区の情報や日々の1出来事を掲載しています。

■まちの歴史や見どころ

洗足池

湧水をせき止めて造られた灌漑池で、かつては「干束池」と表記されていました。日蓮聖人が池で足を洗ったことから、「洗足池」となったという言い伝えがあります。また、歌川広重の『名所江戸百景』に描かれており、古くから人々に親しまれています。

洗足池の近くある「洗足流れ」や「小池公園」も雪谷地区の緑を感じられます。『いきいき雪谷ふれあいマップ』では、散策コースも紹介しています。



名所江戸百景 千束の池 袈裟装懸松

■ 地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第25回千束地区スポーツ祭り

秋晴れの中約700の方が参加、今年も綱引きなど盛り上がりました。



2 地域ふれあいの会

高齢者の方に防災講演会や音楽鑑賞などを楽しんでいただきました。地域のイベントとして親しまれ、10月10日には第100回を迎えました。



■ 地域防災の活動(令和元年度)

高めよう共助の力、地域を守る8自治町会、消防団、5学校防災活動拠点

1 地域における防災訓練



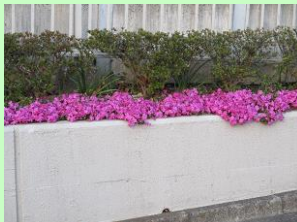
2 東京防災学習セミナー

平成28年度から4年続けて開催しています。毎年内容を変え、ステップアップしています。令和元年は「避難所運営の進め方」について実施。グループワークでは活発な意見交換がなされ、実り多いセミナーとなりました。



■ 18色の緑づくり(地域の花)の取組

～千束の花 シバザクラ～
毎年秋に苗をお配りしています。春になると、公園や街路、学校などに咲き乱れ、ピンクの絨毯が目を楽しませてくれます。



【地域の魅力を紹介（千東特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 避難所における新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染拡大により、災害時の避難所運営も多くの課題を抱えることになりました。避難所における感染拡大の防止とともに、教育施設としての機能維持も見据え、学校の先生方や地域住民の方々と、避難所運営について検討を重ねています。



2 地域の活動状況

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、25年間続けてきた「千東地区スポーツ祭り」をはじめ、地域の児童のための「青少対事業」、高齢者の方向けの「地域ふれあいの会」等、殆どの事業が中止となっています。

自治会・町会においては、人の手から手へと渡る回覧版は休止し、必要な情報は自治会町会の掲示板に掲出する、人数を減らして役員会を行うなど、工夫をしながら活動をしていただいています。

また、民生委員児童委員をはじめ、福祉に関わる方々は、できるだけ対面の機会を減らすなどの工夫をしながら、地域の福祉を止めることなく活動を続けていただいています。

■まちの歴史や見どころ

1 勝海舟記念館



～令和元年9月開館！～

令和2年3月2日～6月1日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休館していましたが、7月末までに、24,774名の方にご来館いただきました。展示替えは年4回程度行われ、販売グッズも順次増えています。リピーターの方も是非お越しください！

2 洗足池公園



都内屈指の観光名所です。平成31年春、公園内に休憩所が整備されました。春は桜、つつじのピンクが、秋は紅葉が水面に映えます。春宵の響、洗足池ホテル観賞会、青少対の水棲生物調査など、自然を生かしたイベント会場としても親しまれています。

■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第7回福祉のまち糀谷「夏のおまつり」

8月18日糀谷地区内の福祉施設を会場として、施設利用者と地域住民の交流を図る「夏のおまつり」を開催。4,498人の参加がありました。今年から参加施設が8施設となり、ますます盛り上がりを見せる一大イベントとなりました。

2 第58回糀谷地区連合運動会

9月29日に糀谷中学校にて開催。当日は朝まで雨模様でしたが、連合会長の英断により開催が決定されるとあっという間に青空が広がり、結果、1,311人が参加。残暑に負けない子ども達の元気な声が響き渡りました！



3 第33回糀谷地区子どもフェスティバル

10月27日に糀谷文化センターとさざんか公園にて開催。地域の子も達を中心に321人の参加がありました。

「福祉のまち糀谷夏のおまつり」は18色の国際都市事業としても開催されました。

■地域防災の活動(令和元年度)

1 糀谷地区防災会議の開催

8月19日に開催。防災危機管理課職員によって「マイタイムライン」について講義が行われ、60人の参加がありました。

2 糀谷地区一斉防災訓練

11月18日午前9時より糀谷地区10自治会・町会が8会場で行った防災訓練を実施し、2,520人の参加がありました。



■18色の国際都市事業(令和元年度)

国際都市おおたフェスティバル in 「空の日」 羽田

9月28日に糀谷地区を代表し、西糀谷三丁目町会が「竹とんぼ」のブースを出展しました。また、東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業として糀谷地区婦人部会が「東京2020音頭」を披露しました。

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

5月下旬に糀谷の花「日日草」が植えられました。地域の皆様にご協力いただき、糀谷地区内の様々な場所に植えていただきました。10月頃まで次々と咲く花を楽しんでいただきました。



【地域の魅力を紹介（糀谷特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 災害に強い「まち」づくりを目指して

「防災のまち糀谷」をスローガンに、各自治会・町会を中心として安全・安心なまちづくり、地域防災力の向上を進めます。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、会議の縮小開催等の活動となっていますが、できることを少しずつ確実にいながら、引き続き地域の防災対策に取り組みます。

2 福祉で安心の「まち」づくりを目指して

これまでの福祉事業の中心であった「糀谷地区福祉施設連絡会」に加え、「糀谷地区子ども地域会議」を新たに立ち上げました。未就学児の親御さんも含めた安全安心のまちづくりに向けた取り組みです。

3 共に助け合える「まち」糀谷

災害時には「自助」「共助」という言葉があります。昨年、関東地方を襲った台風15・19号については幸いにも糀谷地区に大きな被害はありませんでしたが、水害時緊急避難場所となった糀谷小学校には約400名、自主避難スペースの糀谷特別出張所・糀谷文化センターには約300名の避難者が避難しました。

そんな中、町会の皆さんが避難所に毛布を届けていただき、また、地域の方が避難所運営に積極的に参加していただいたことで、避難者の皆様が安心して過ごしていただくことができました。

■まちの歴史や見どころ

1 「福祉のまち」「防災のまち」糀谷

「福祉のまち糀谷夏のおまつり」「糀谷地区一斉防災訓練」等、糀谷地区には他の地区にない一大イベントが目白押しです。これからもみなさんの参加をお待ちしています！！

2 糀谷の歴史

海苔の養殖、農地開拓から始まった糀谷地区の歴史は、関東大震災を乗り越え、東京を代表するものづくりの「まち」として発展してきました。羽田空港の開設、蒲田キネマの聖地と周辺地域も栄え、そして今も集合住宅の進出による新たな進化を続ける「まち」となりました。区長の仰る「日本の縮図」と言わせる所以が溢れる「おおた」「糀谷」にぜひお越しください！！

3 新型コロナウイルス感染症対策について

昨年末から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は多くのイベントが中止・延期となってしまいました。しかしながら、今後のイベント再開に向けて感染症対策を万全に行いながら、会議等において「コロナに負けない 糀谷」を再スタートさせるべく糀谷一丸となって町会活動・地域力事業は継続されています！！

■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 地域を語る会

令和元年11月に「後世に残したい、音楽で伝える『羽田のむかし話』」と題し、劇やコーラスを中心としたこれまでの講演会とは違う新しいかたちで開催されました。劇は萩中小学校6年生に演じてもらいました。



2 羽田ふれあい縁日



羽田地区の地域交流イベントとして、令和元年11月、12月にわたって開催されました。地域団体や企業による出店に

より、大変にぎわいました。12月にはフルート奏者による「クリスマスミニコンサート」が開催されました。



■地域防災の活動(令和元年度)

都南小学校防災活動拠点訓練

令和元年5月に開催されました。都南小学校の児童・保護者に避難者役を担ってもらい、避難者受入訓練等を実施しました。さらに、羽田地区初となる情報集約訓練を実施し、特別出張所との相互情報伝達や災害時公衆電話の操作を体験していただきました。



■18色の国際都市事業(令和元年度)

第9回ふれあいまつり羽田・萩中

令和元年10月に開催されました。ハロウィン仕様の顔出しパネルを作成し、多くの来場者に写真を撮って楽しんでいただきました。



■18色の緑づくり(地域の花)の取組

羽田・萩中花いっぱい運動として、令和元年5月に育成講習会が開催されました。羽田地区の花である「日日草(ニチニチソウ)」の育て方講習のほか、種団子づくり体験などを行いました。

また、第9回ふれあいまつり羽田・萩中では、ビオラの苗の配付や「お花のぬり絵コーナー」により多くの方に楽しんでいただきました。



【地域の魅力を紹介（羽田特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

羽田地域力推進センターを活用した地域活動

平成30年度に開設した「羽田地域力推進センター」を活用し、地域団体や企業が一体となり、今年度も「地域を語る会」や「防災展示会」、「羽田ふれあい縁日」など、様々な活動を予定しています。今後も羽田地区のにぎわいを生み出すとともに、多世代交流による地域の新たな担い手作りの場を創出し、一層の地域力向上、地域の活性化を目指していきます。



写真は令和元年度の「羽田ふれあい縁日」の様子

左上：屋外休憩スペース

右上：町会などによる出店

左下：東京羽田ヴィッキーズのパブリックビューイング

■まちの歴史や見どころ

1 羽田イノベーションシティ



令和2年7月3日、羽田空港跡地第1ゾーンに新産業発信拠点「羽田イノベーションシティ」が開業しました。空港が一望できる無料の足湯や羽田の歴史を展示するコーナーなどがあります。

（写真提供：羽田みらい開発(株)）

2 ソラムナード羽田緑地

平成31年4月に羽田空港跡地第2ゾーン内の多摩川沿いに開園しました。ここには「展望テラス」や「休憩施設」、四季を感じることのできる植栽のある「散策路」が整備されています。園内にはおよそ5,000株のスカシユリが植えられており、5月下旬から6月上旬に見ごろを迎えます。



（令和2年6月5日撮影）

■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 第8回 六郷大運動会の開催

日時 令和元年10月20日(日)
午前10時~12時半
場所 南六郷小学校 校庭
主催 青少年対策六郷地区委員会
参加者数 835名 (うち子ども350名)



2 OTAふれあいフェスタ開催に伴う
六郷美郷交流会懇親会

日時 令和元年11月2日(土)
午後5時半~7時
会場 青少年交流センターゆいっつ 第一研修室
参加者 55名 (①秋田県美郷町28名②大田区六郷27名)



3 六郷地域力推進センター

1Fロビーを活用した主な行事

- (1) 第5回六郷の魅力 再発見講座
令和元年9月28日(土)
テーマ「六郷神社とその周辺の歴史」
- (2) 第5回六郷区民ギャラリー企画展
令和元年10月1日(火)~10月31日(木)
- (3) 美芸作品展
令和元年11月11日(月)~11月15日(金)
西六郷二丁目にお住まいの方がつくった作品を展示



■18色の緑づくり(地域の花)の取組

春まきは「マリーゴールド」を、秋まきは「さくら草」の花を地域の花として育てています。15町会・自治会で、公園や町会会館前などに花を咲かせて、地域に住む人の目を楽しませています。



■地域防災の活動(令和元年度)

1 東六郷一丁目町会防災訓練

実施日時 令和元年10月27日(日)午前9時~12時半
会場 東六郷一丁目町内4か所(発災対応型訓練)
避難開始・集合地点2か所(避難誘導訓練)
東六郷一丁目公園内(会場集合訓練)
参加者数 外国人18名 合計297名
訓練内容 避難誘導訓練・消火訓練・応急救護訓練
通信訓練・炊き出し訓練・煙体験

「東六郷一丁目町会防災訓練」は18色の国際都市事業としても、開催されました。

2 南六郷二丁目町会防災訓練

実施日時 令和元年10月27日(日)午前9時~11時
会場 南二和公園及び町会会館
参加者数 300人
訓練内容 避難訓練・通信訓練・煙体験
防犯パネル展・炊き出し訓練

この他、各町会自治会においても防災訓練が開催されました。

■18色の国際都市事業(令和元年度)

東六郷一丁目町会防災訓練

実施日時 令和元年10月27日(日)午前9時~12時半
内容・目的
「災害時要援護者」に該当する外国人に対しても多言語のチラシ・ポスターを作成し、訓練の参加を呼びかけた。地震や水害の多発する日本の防災のあり方や日本文化を知ってもらった。訓練後、大田翔裕園で障がい者と外国人との防災の意見交換会を行い、災害時の連携について共有を図った。



【地域の魅力を紹介（六郷特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 令和2年度大田区総合防災訓練

日程 令和2年11月15日（日）午前9時から12時

会場 志茂田小学校

対象 志茂田小学校防災活動拠点（西六郷一丁目町会 他）

内容 水害時緊急避難場所開設・運営訓練

その他 訓練に参加できない地域住民の方にも各世帯で風水害への備えを進めていただくため、総合防災訓練用の普及啓発チラシを作成し、配布予定です。

2 学校防災活動拠点

今年度から、水害時の緊急避難場所として、六郷地区のすべての学校が避難所として指定され、災害に向けた、会議・訓練を進めています。町会・学校と協力し、今年度は、水害を想定した避難所の運営を検討していきます。コロナウイルスの感染リスクを考慮し、町会役員や学校、出張所職員の中から限られた人数で訓練を実施していく予定です。

学 校	訓練又は実地検証 日程（予定）
六郷小学校	9月6日（日）実地検証
西六郷小学校	8月9日（日）訓練
高畑小学校	8月29日（土）訓練
仲六郷小学校	訓練日程調整中
志茂田小学校	大田区総合防災訓練により実施
東六郷小学校	8月29日（土）実地検証
南六郷小学校	7月18日（土）訓練
六郷中学校	8月5日（水）実地検証
南六郷中学校	7月26日（日）訓練

水害が起きた時に、被害が大きい六郷地区だからこそ、各学校防災活動拠点を「逃げ込む場所」から「災害に立ち向かう場所」へと意識し、町会・学校・区の三者で協力していきます。

■まちの見どころ

1 西六郷公園（タイヤ公園）

通称タイヤ公園。シンボルはタイヤで作られた大怪獣。子どもたちに大人気の公園。



2 七辻通り

東六郷一丁目と南蒲田二丁目の境にあります。信号のない交差点で七本の道路が交わっています。事故が少ないことで有名な交差点であることから「日本一ゆずり合いモデル交差点」の看板が置かれています。



3 六郷神社

六郷神社は、前九年の役(1051年～1062年)後に創建され、ユニークな顔をした狛犬は区内最古のものです。郷土の芸能行事として、こども流鏝馬を毎年1月7日に行っています。



4 六郷水門

昭和6年に竣工して以来、下水道が普及するまで、六郷用水の末流をはじめ、六郷や池上、矢口、羽田の一部の地域の生活用水の排水を処理していました。日本の近代土木遺産の一つとして紹介されている貴重な土木遺産です。





■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

“社会を明るくする運動”第4回 矢口地区集会 講演会

令和元年7月22日(月) 参加者 189名

講師 川越 亮さん
川越 啓子さん

亮さんの迫力あるエレクーン演奏

川越亮氏のお母様啓子さん
による子育てエピソード



亮さんと啓子さんの協演



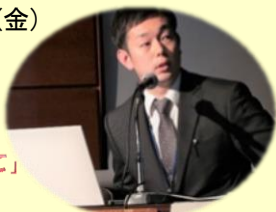
第3回矢口地区歴史講座

「双盤念仏～今泉地区に残る伝統の技～」

令和元年12月13日(金)

参加者 131人

田島太良氏による
「双盤念仏の歴史について」
の講演



今泉延命寺双盤講保存会の演奏



高齢者見守り検討分科会 第5回シニアいきいきサロン

令和元年11月11日(月) 参加者 169人

皆さんで記念撮影



フロ演奏家
中西基起氏の
ハーモニカ演奏



前田明子氏の軽快な指導で
笑いあふれる脳トレ

■地域防災の活動(令和元年度)

夜間防災訓練(東京都地域の底力発展事業助成)

令和2年2月4日(火) 参加者 140人

①講演「災害時のトイレ問題を考える」

講師 NPO法人日本トイレ研究所
代表理事 加藤 篤さん

②簡易トイレ組立・投光機設置訓練

③炊出訓練(サブ缶カレーの試食)



■18色の国際都市事業(令和元年度)

たまちゃんバス英語版パンフレット作成

矢口特別出張所
たまちゃんバス
コーナーで
配布中です。



18色の
緑づくり
(地域の花)の取組



菜の花



種まき



シニア



地域の方が
育てられた花を
出張所に
飾っています



【地域の魅力を紹介（矢口特別出張所）】



■ 地域の活動



青少年対策矢口地区委員会

1 矢口キャンプ村

令和元年8月10日（土）～11日（日）
参加者 57名

矢口西小学校体育館で
キャンプファイア！



初日の昼間はみんな
プールでエンジョイ！



地域力推進矢口地区委員会

2 バス見学会

令和元年11月26日（火）
参加者 35名
見学場所：大田区立勝海舟記念館
三溪園



■ まちの歴史や見どころ

おおたオープンファクトリー

武蔵新田・下丸子エリア（通称：新田丸）の町工場を巡る、年に1日だけのイベントです。



ものづくりを
身近に感じて
もらえる
コンテンツが
たくさん

■ まちの緑

ガス橋の二十一世紀桜

毎年3月に「二十一世紀桜まつり」を大田区民プラザで開催しています。



3 たまちゃんバス運行10周年記念イベント

令和元年11月23日（土・祝）参加者 式典102名
会場 東京サーハウス自治会館 他

式典で
たまちゃんバス
利用者代表からの
メッセージ



ガス橋二十一世紀桜停留所



スタッフアートで
お祝い！



■ 地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 社会を明るくする運動 蒲田西地区集会(9月21日)
 犯罪や非行のない地域社会の実現を目指し、“社会を明るくする運動” 蒲田西地区集会を御園中学校で開催しました。



2 青少年対策蒲田西地区委員会

青少年の健全育成のため、運動会やバスハイクなど様々なイベントを実施しています。



【夏の親子バスハイク】



【子どもガーデンパーティ】

■ 地域防災の活動 (令和元年度)

令和元年度は蒲田西特別出張所管内の全校にて、学校防災活動拠点の実働訓練を実施しました。



■ 18色の国際都市事業 (令和元年度)

【蒲田国際フェスティバル2019】(10月26日)

日本文化の発信をテーマに多数の地域団体と連携し、日本工学院蒲田キャンパス、蒲田駅西口駅前広場で盛大に開催しました。



■ 18色の緑づくり (地域の花) の取組

春まきの「マリーゴールド」、秋まきの「ネモフィラ」の2つを地域の花として育てています。

蒲田国際フェスティバル等、地域のイベントや学校との連携を通じて、緑豊かな地域を目指しています。



【ネモフィラ配布の様子】



【マリーゴールド】



【ネモフィラ】

【地域の魅力を紹介（蒲田西特別出張所）】

■地域の活動

1 蒲田西地区の絆づくり

蒲田西地区では地域の絆を深めることを目的に、園児、学生、高齢者、外国人の方など、多世代・多文化交流を図っています。
(主な取り組み事例)

かまにしコンサート

蒲田西・プラットフォームプロジェクト



【かまにしコンサート】



【蒲田西・プラットフォームプロジェクト】

2 蒲田駅周辺の明るいまちづくり

自治会・町会、商店街等のメンバーで構成されている「蒲田駅周辺環境改善対策協議会」が主体となり、蒲田駅周辺の明るい環境を目指して蒲田警察署・大田区との合同パトロールを実施しています。



■まちの歴史や見どころ

1 蒲田西地区の歴史・商店街

蒲田駅西口には2本のアーケードを含む様々な商店街が存在します。外国人居住率の高い蒲田西口ならではの国際色豊かな地域を目指しています。



【現在の蒲田駅】



【昔の蒲田駅】

2 地域の歴史の発信源「かまにし17」

地域にゆかりのある人物や物事などを毎回とりあげる地域情報紙「かまにし17」。地域の歴史を継承することで、郷土愛を育てています。



■地域力推進事業の取組み(令和元年度)

1 大蒲田祭 打ち水大会



令和元年8月4日に大蒲田祭のイベントとして打ち水大会を実施し、涼をとれる手段として「打ち水」の普及を促進しました。当日は「来～る大田区大使」の皆様も参加し、日本の夏の風物詩を体験し日本の涼を感じていただきました。

2 青少対事業

10月20日に実施したバスレクでは、地域の子もたちが東京ドイツ村内にある畑で芋ほりをし、その後、広い芝生広場で思いっきり遊びました。子供たちはバスレクを通じて、集団で行動することの大切さを学びました。



■地域防災の活動(令和元年度)

まもりんピック蒲田東～防災運動会～



令和元年10月6日に今回で5回目となる「まもりんピック蒲田東」が大田区総合体育館で開催されました。1000人以上の地域の方が参加し、「防災宝さがし」等の競技を楽しみながら防災について学びました。

■18色の国際都市事業(令和元年度)



令和元年11月24日に蒲田東フェスティバルを開催しました。今年も国際交流員のベサニーさんに協力していただき、異国文化を体験できるワークショップを出展しました。参加者にクリスマスカード作りを楽しんでいただき大好評でした。

■18色の緑づくり(地域の花)の取組

蒲田東地区の花は「ひまわり・ユリオプスデージーです。春にはひまわりの種、秋にはユリオプスデージーの花苗を各自治会・町会や学校等へ配布しています。夏と秋には花が咲き蒲田東のまちを彩ります。蒲田中学校でひまわりの育成講習会を開催するなど、蒲田東地区全体で緑を増やしていきます。



【地域の魅力を紹介（蒲田東特別出張所）】

■地域の活動（令和2年度）

1 学校防災活動拠点



蒲田東地区にある7拠点すべてで学校防災活動拠点会議を実施しました。今年は震災時に加え、風水害時にも適切な行動がとれるよう町会・学校・行政で連携し災害に備えるまちづくりに取り組んでいます。

2 お正月遊びを楽しむ会

青少対では「お正月遊びを楽しむ会」を毎年1月に開催しています。福笑いやカルタ、ベーゴマなどの昔ながらの遊びに触れることができ、子どもたちはもちろん大人たちも童心に帰って楽しむことができるイベントです。



■まちの歴史や見どころ

1 聖蹟蒲田梅屋敷公園



江戸時代に売薬所の敷地 3000 坪に梅の木数百本を植え、東海道の休み茶屋をつくったことに始まります。現在も約100本の梅の木が残っています。

2 京急蒲田駅



平成27年に京急蒲田駅に駅前広場とペデストリアンデッキが整備されました。それに伴い駅高架下に商業施設もオープンし、オリンピック・パラリンピックに向けてさらに賑やかになっています。